

研究会

～中近世キリスト教世界の多元性とグローバルヒストリーへの視角～ 「中世地中海世界の聖人と聖性をめぐって」



2014年10月11日(土) 14:00～17:30
早稲田大学戸山キャンパス33号館16階第10会議室

主 旨

中世キリスト教における聖人とその聖性の問題は、これまでカトリック教会の問題として考察されることが多かった。仮に比較されるとしても、東方正教会の聖人との比較に終始したが、この研究会では、イスラーム支配下のキリスト教徒の聖人崇敬の問題と比較することにより、地中海世界のキリスト教徒にとって聖人とは何か、その聖性とは何かを考える。

講演者

木村容子 (大阪市立大学研究員)
辻明日香 (学振研究員PD・東京大学)

プログラム

14:00	開会 趣旨説明	甚野尚志 (早稲田大学文学学術院教授)
14:15	報告 1	木村容子 「中世末期における聖性の収集・記録・伝達 ーフランススコ会厳修派を中心にー」
15:00	質疑と討論	
16:00	報告 2	辻明日香 「マムルーク朝期コプト教における聖人崇敬」
16:45	質疑と討論	
17:00	閉会	

主催・問合せ



WIAS

早稲田大学高等研究所
Waseda Institute for Advanced Study

共催

「教会と社会」研究会

早稲田大学総合人文科学センター・研究部門「ヨーロッパ基層文化の学際的研究」

入場無料・事前申込不要 直接会場にお越しください。